

研究者プロフィール

一般科目（文科系） Dept. of Liberal Arts (Humanities and Social Science)

— 日本近代文学 Modern Japanese Literary Studies —

石塚 政吾 Ishizuka Seigo

研究業績（論文・著書・その他の活動）



[1] 「藤村と友弥」（『国語と国文学』71 巻 10 号 1994 年 10 月）

[2] 『秋田市史』第十四巻 文芸・芸能編（1997 年 3 月）

[3] 『物書きプライズ 杉田瑞子』新典社（2018 年 11 月）

[4] 「春告鳥の声を聴く－伊藤永之介〈鳥類物〉を中心に」（2021 年 6 月）

日本近代文学研究とは、文学研究という小さな窓から日本の近代について問い直すことである。明治維新以後、西洋から輸入された近代というシステムがもたらしたものを、文学を通じて解き明かしてみる試みである。その際、私たちは、自分がある〈いま・ここ〉と過去の様々な地点とを結んで「近代とは何か」を問い直す。すなわち、〈いま・ここ〉と別のある地点との対話を通して世界のあり方を学ぶのである。

昭和十年代、日本の総人口はおよそ 7,000 万人。その半数は農民であった。明治維新から 70 年を経て日本に民主主義が実現していたとするならば、その中心には当然農民がいるはずである。果たして文学の中心に農民はいたのだろうか。農民文学の担い手として知られた伊藤永之介や鶴田知也の作品群を通して、日本の近代について問い直している。

研究分野キーワード

日本近代文学 昭和十年代の日本文学 伊藤永之介 鶴田知也 自然主義文学 島崎藤村